



福島医発第 492 号 (総)

平成 22 年 5 月 28 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

(公印省略)

「武見記念賞」並びに「武見奨励賞」受賞候補者の募集について

本件につきまして、公益信託武見記念生存科学研究基金より別添のとおり案内が参りました。

「武見記念賞」は、生存科学とその関連分野において顕著な業績をあげられた概ね 60 才以上の研究者または実践者を対象とし、その受賞候補者は「推薦方式」により募集しております。

また、「武見奨励賞」は、生存科学とその関連分野において顕著な業績をあげつつある研究者または実践者を対象とし、その受賞候補者は「自薦方式」により募集しております。

つきましては、別添の推薦要項、応募要項にて貴会会員への周知方いただきますとともに、推薦並びに応募がございましたら、8 月 20 日 (金) までに本会総務課宛、別添の推薦書又は受賞申請書をご提出くださいますようお願い致します。本会にて取りまとめて応募いたします。

平成22年5月吉日

関係各位

公益信託武見記念生存科学研究基金
運営委員長 福井 光壽
受託者 中央三井信託銀行株式会社
執行役員本店法人営業部長 渡辺睦

「武見記念賞」並びに「武見奨励賞」受賞候補者の募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当基金では、生存科学の研究や実践活動を普及し発展させることを目的に、「武見記念賞」及び「生存科学研究武見奨励賞」を贈呈する制度を設けております。

「武見記念賞」は、生存科学とその関連分野において顕著な業績をあげられた概ね60才以上の研究者または実践者を対象とし、その受賞候補者は「推薦方式」により募集いたしております。

また、「生存科学研究武見奨励賞」は、生存科学とその関連分野において顕著な業績をあげつつある研究者または実践者を対象とし、その受賞候補者は「自薦方式」により募集いたしております。

つきましては、本状添付の『「武見記念賞」受賞候補者推薦要項』をご参照のうえ受賞候補者をご推薦いただくか、または、『「武見奨励賞」受賞者応募要項』をご参照のうえご応募いただきたくご案内申し上げます。因みに、これまでに受賞された方々は別紙一覧表の通りでございます。

なお、“生存科学”の概念については、別添の“生存科学とは”（武見理論の要約）をご参照下さい。

まずはご案内まで。

敬 具

添付書類

1. 生存科学とは（武見理論の要約）
2. 「武見記念賞」受賞候補者推薦要項、推薦書
3. 「武見奨励賞」受賞者応募要項、申請書
4. 受賞者一覧表

なお、上記添付書類は、下記の受託者Webサイトにてダウンロード可能です。 http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

生存科学とは

1. はじめに

およそ「科学」とは、医学や自然科学だけでなく社会科学なども含めて——分野により、その目的は異なるが——認識された現象の抽象化を軸として進められるという点で共通項をもつ。そして、この抽象化は、「概念」の創出という作業によっておこなわれるが、概念自体が次第により高次の概念に包摂されていくという過程を辿ることになる。こうして、諸概念の内容ないし適用範囲も明確にされることになる。なお、こうした概念の形成にあたっては、演繹、帰納の論理が駆使されるし、さらに既存の概念の枠外の新しい現象が出現したような場合には、新現象に対応できる新概念の誕生までは、「あたかも既存の概念に含まれているかのように」取り扱う論理、すなわちフィクションの論理が大きな役割を果たすことになるといえようか（概念自体が、一度現実から遊離してまわりみちをするフィクションの性格をもつことも多いが、両者の関係については、ここでは触れない。猶フィクションは虚言ではない。）

ともあれ、科学を上述のように定義してよいとすれば、武見先生の生存科学論は、ゆるぎない科学としての方向付けに満たされており、しのぎを削っている多くの科学論の中での代表作というべきものである。それは、決して単なる観念論ではない。未完成ではあるが、人類の文化発展の起動力としての役割を果たすことのできる科学論である。したがってまた、できるだけ多くの人の理解と協力の促進が必要となる。そのために、以下、武見理論の特色を要約して示しておきたい。

2. 武見理論の要約

「生存科学」は、故武見太郎氏が医学の科学的基盤を模索するなかで到達した、包括的、学際的、総合的な学問体系概念モデルである。とはいえ、完結した概念モデルというよりは、むしろ人間について考えるあらゆる人びとにつねに問いかけ挑戦し続ける概念である。武見氏は、医学とは何か、医学は何をなすべきかという問に答えるために、その根幹にある基盤科学として生存の理法に基づく生存科学を構想され、本来は広義の医学概念であるライフサイエンスとして提唱されたものである。

しかし生存科学は医学概念にとどまらない。人類の生存秩序を、個人の生存の場から、集団としての地球的規模における全人類の生存の場まで包括的にとらえようとする学問である。人類の生存秩序には、生物学的秩序、社会経済秩序、精神生活秩序、さらには政治的な秩序があり、それらすべての秩序の中に生物的要素が大きく存在すると考えるのである。

ひとり個人の生存のみならず、同時代の地球上のすべての人びと、そして世代を超えて、人類のより健全な、より人間らしい生存を目標として、既存の科学、それも自然科学のみならず社会科学、人文科学、さらには哲学・宗教・芸術までも含めた全人間的知識の見直しと統合を科学的に行おうとする試みでもあった。そして、その目的に沿った新しい科学技術やテクノロジーの開発までを包括しようとする概念である。

したがって、従来の縦割りの学問分野を寄せ集めて束ねるのではなく、哲学から分子生物学に至る人文・社会科学、自然科学を包摂して、ミクロからマクロに至る各レベルにおいて、それぞれの分野の理論思考を相互に統合させつつ体系化をはかろうとする、より本来的な包括概念として生存科学は構想された。

武見氏は、あらゆるレベルでの人間の生存を考慮に入れて、本来の意味での福祉を本質的に人類のために考えることが生存科学と呼ばれるに値すると考えられた。生きることは人類のすべての営みの出発点である。誰が、なぜ、どのように、さらに、いかに生存すべきなのか、という問題提起から始まり、個別の生命現象としてとらえるとともに、地球規模で人びとが共存していくために、何を考え、何をすべきなのかを英知を集めるべきである。そのために、生存科学が開発途上国から高度の先進国までを含めて、現状を把握し、未来の方向を作っていく基礎的な学問として成立し、世界的な発展を図る場としてハーバード大学に武見国際保健講座を開設された。

武見氏は、生存科学の現実的モデルとして国内では先進的かつ包括的な地域医療モデルを提示された。さらに地球規模のエコロジー概念を前提とした倫理的アプローチによる健康資源の配分、さらにバイオエシックスやバイオインシュアランスという概念も創出され、現代のわれわれに問いかけ続けている。

3. 期待

以上で、武見「生存科学」論の解説を終わる。先生の提唱されたこの概念の充実、発展をひたすら願っている基金としては、すぐれた生存科学論が相次いで出現することを期待する。

以上

公益信託武見記念生存科学研究基金

平成22年度（第21回）「武見記念賞」受賞候補者推薦要項

1. 趣 旨

故武見太郎先生が創造した生存科学の普及・発展を図ることを目的に生存科学とその関連分野で顕著な業績をあげた研究者または実践者を顕彰してその業績を称える。

2. 賞の種類

「武見記念賞」

生存科学とその関連分野で、顕著な業績をあげた研究者または実践者（個人又は団体）を顕彰する賞。個人の場合受賞者は概ね60歳以上とする。

3. 受賞候補者の推薦

「武見記念賞」を受けるに相応しい方又は団体を、「推薦書」に所要事項を記載して、下記連絡先へ提出して下さい。

4. 受賞者数・賞金額

「武見記念賞」および別途公募する「生存科学研究武見奨励賞」について合計2件。賞金は1件50万円。副賞として記念品を贈呈。

5. 受付期間

7月1日(木曜日)から8月31日(火曜日・当日消印有効)まで。

6. 選考方法

当基金運営委員会で審査し選考する。

7. 選考結果の通知

11月末日までに、推薦者に通知する。採択された場合は、推薦者及び受賞者に通知する。なお、応募書類は採否に関係なく返却しない。

▼連絡先 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社 本店法人営業部 公益信託課

(担当：木村) Tel03-5232-8910

受付№.

平成 年 月 日

公益信託武見記念生存科学研究基金

受託者 中央三井信託銀行株式会社 御 中

(〒 -) (電話 - -)

住 所

推 薦 者

氏 名



(職 業

「武見記念賞」受賞候補者推薦書

下記の方を受賞候補者として推薦致します。

受 賞 候 補 者	ふりがな 氏 名		男 女	生 年 月 日	19 年 月 日生まれ (歳)
	住 所 (〒 -)				
	所 属 機 関	名 称	職 名		
	所在地 (〒 -)	(電話 - -)			
① 受 賞 候 補 者 略 歴			年 月		
年 月			年 月		
年 月			年 月		
年 月			年 月		
② 受賞の対象となる研究または実践のテーマ					

③ 研究又は活動の具体的な内容

④ 主要論文リスト又は活動の成果の記録等

注：資料を3点以内でなるべく添付願います。

⑤ 推薦理由

受付No.

平成 年 月 日

公益信託武見記念生存科学研究基金

受託者 中央三井信託銀行株式会社 御 中

(〒 -) (電話 - -)

住 所

推 薦 者

氏 名



(職 業

「武見記念賞」受賞候補者推薦書

下記の方を受賞候補者として推薦致します。

受 賞 候 補 者	団 体 の 名 称		代表者	
	所在地 (〒 -)			
① 受 賞 候 補 団 体 の 概 要 ・ 活 動 の 概 況				
② 受 賞 の 対 象 と な る 研 究 ま た は 実 践 の テ ー マ				

③ 研究又は活動の具体的な内容

④ 主要論文リスト又は活動の成果の記録等

注：資料を3点以内でなるべく添付願います。

⑤ 推薦理由

公益信託武見記念生存科学研究基金

平成22年度（第20回）「武見奨励賞」受賞者応募要項

1. 趣 旨

故武見太郎先生が創造した生存科学の普及・発展を図ることを目的に生存科学とその関連分野で顕著な業績をあげつつある研究者または実践者を顕彰してその業績を称える。

2. 賞の種類

「生存科学研究武見奨励賞」

生存科学とその関連分野で、創造的な研究や実践的な活動を行い業績をあげつつある方（個人又は団体）を顕彰する賞。

3. 受賞者数・賞金額

「生存科学研究武見奨励賞」および別途推薦により募集する「武見記念賞」について合計2件。賞金は1件50万円。副賞として記念品を贈呈。

4. 受付期間

7月1日(木曜日)から8月31日(火曜日・当日消印有効)まで。

5. 選考方法

当基金運営委員会で審査し選考する。

6. 選考結果の通知

11月末日までに申請者に通知する。

なお、応募書類は採否に関係なく返却はしない。

▼連絡先 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社 本店法人営業部 公益信託課

(担当：木村) Tel03-5232-8910

受付No.

平成 年 月 日

公益信託武見記念生存科学研究基金
受託者 中央三井信託銀行株式会社 御 中

申 請 者



「武見奨励賞」受賞申請書

下記の通り、受賞候補者として申請致します。

★ この申請書類に記載する事項は、助成金等の支給対象者の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が、主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

申 請 者	ふりがな 氏 名		男 女	生 年 月 日	1 9 年 月 日生 (歳)	
	住 所	(〒 -) (電話 - -)				
	所 属	名 称		職 名		
	機 関	所在地 (〒 -) (電話 - -)				
① 申 請 者 略 歴			年 月			
年 月			年 月			
年 月			年 月			
年 月			年 月			
② 受 賞 の 対 象 と な る 研 究 ま た は 実 践 の テ ー マ						

③ 研究又は活動の具体的な内容

④ 主要論文リスト又は活動の成果の記録等

注：資料を3点以内でなるべく添付願います。

⑤ 申請理由

受付No.

平成 年 月 日

公益信託武見記念生存科学研究基金
受託者 中央三井信託銀行株式会社 御 中

申 請 者



「武見奨励賞」受賞申請書

下記の通り、受賞候補者として申請致します。

★ この申請書類に記載する事項は、助成金等の支給対象者の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が、主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

申 請 者	団 体 の 名 称			代 表 者	
	所 在 地	(〒) (電話)			
	連 絡 責 任 者	氏 名			職 名
		(電話)			

① 申請団体の概要・活動の概況

② 受賞の対象となる研究または実践のテーマ

③ 研究又は活動の具体的な内容

④ 主要論文リスト又は活動の成果の記録等

注：資料を3点以内でなるべく添付願います。

⑤ 申請理由